

Introduction

～ まちの人紹介 ～



委託型地域おこし協力隊(ホテル日の出岬)

いとう ゆきちか
伊東 幸親 さん



「料理を食べた人たちの今日を生きる力にならば幸いです」そう話すのは、4月から委託型地域おこし協力隊としてホテル日の出岬の厨房で活動する伊東さん。出身は長野県で、協力隊になる前は、島根県の海士町で和食の修行を積んでいたとのこと。「修行中に雄武町長が町の視察で訪れた際に、雄武町のことを教えてもらい、興味がわいたので一度訪れてみたところ、広大な自然や海を眺めながら入る温泉がとても魅力的で、食事も美味しかったことが移住を決意した大きな理由の一つになりました」と雄武町に惹かれた経緯について教えてくれました。料理人を目指すきっかけについて聞いてみると「幼少期から食えることが好きで、漠然と食に関わる仕事をしたいと思っていました。大学時代には、肉屋や総菜屋などでのアルバイトをしました。その中の一つである酒蔵にそのまま就職し酒造りをして

いましたが、併設のレストランで調理をするシェフの食材と向き合う姿に憧れ、本格的な料理の道へ進むことを決意しました」と当時の思いを振り返ってくれました。ホテルでの主な活動内容について聞いてみると「夕食で提供している御造りや、レストラン営業での調理を担当しています。厨房に入ってからまだ日が浅いですが、お客さまアンケートで『食事が美味しかった』というお声をいただける、とてもうれしく励みになります」と笑顔で話してくれました。今後の目標については「仕事面では、洋食やスイーツなど、これまで経験のないジャンルにも挑戦していきたいです。プライベートでも、新しいことをしてみたいという気持ちがあり、乗馬や蕎麦打ち、フォトコンテストへの応募など、いろいろなおことに挑戦したいです」と意欲をのぞかせていました。伊東さんの今後の活躍が期待されます。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいのある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼少しずつあたたかい日が増え、雄武町にも初夏の気配を感じる季節となりました。6月は、運動会やイベントも多く、外で過ごす機会が増える時期です。寒暖差のある日も続きますので、体調管理に気をつけながら、この季節ならではの心地よい気候を楽しみたいですね。（館田）